

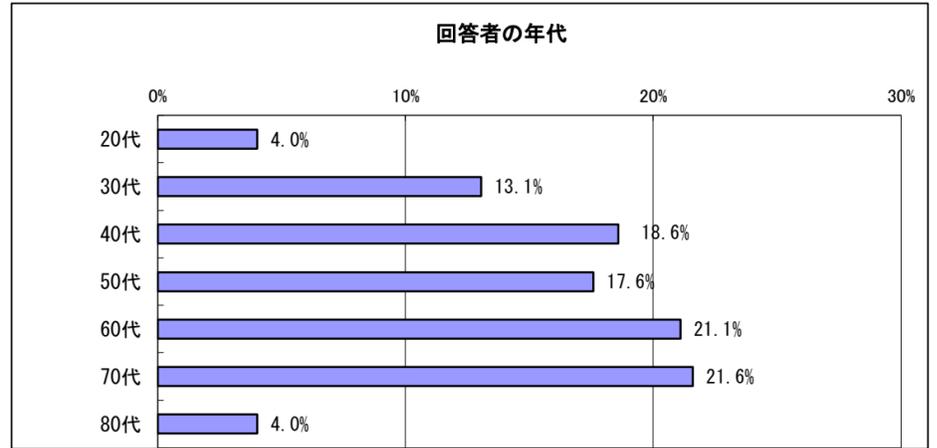
# 平成30年度「県民Webアンケート」 第7回 奈良の生物多様性について

○実施期間 2018/9/27~2018/10/3

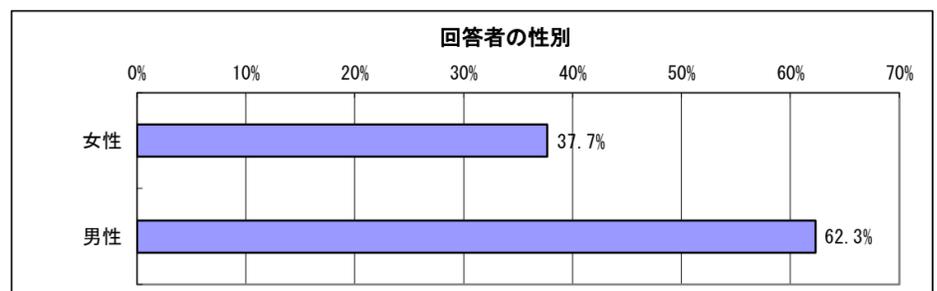
○アンケート会員数 228人 回収数 199件 (回収率 87.2%)

○平素より、県の自然環境の保全にご協力いただき、ありがとうございます。県では平成25年3月に生物多様性なら戦略を策定いたしました。戦略では、生物多様性への認知度を高めることを目標の1つに掲げております。そこで、皆様の生物多様性への意識や認知度について現状を把握するため昨年度と同様のアンケートを実施し、今年度の結果との比較検討をすることで、今後の取り組みに活用させていただきたいと考えております。ご多用のところ恐れ入りますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

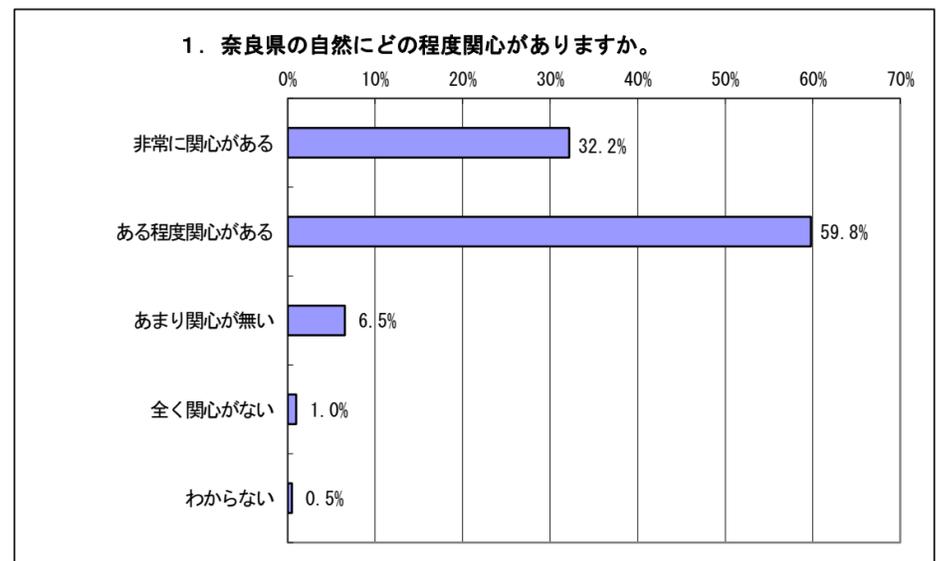
回答者の年代	回答数	比率
20代	8	4.0%
30代	26	13.1%
40代	37	18.6%
50代	35	17.6%
60代	42	21.1%
70代	43	21.6%
80代	8	4.0%
総計	199	100.0%



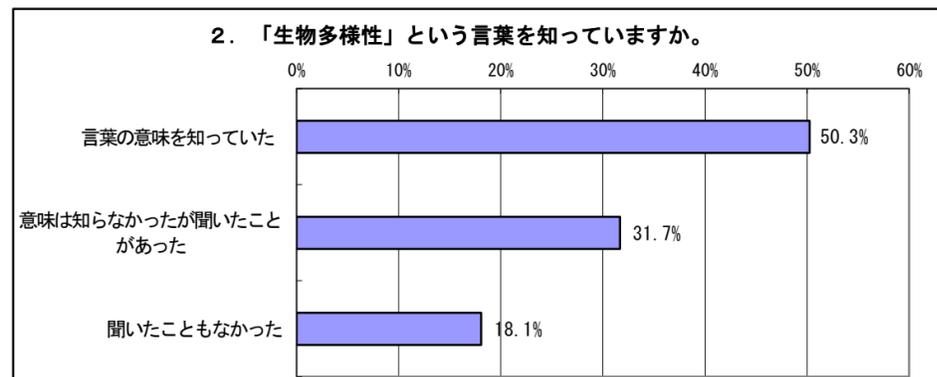
回答者の性別	回答数	比率
女性	75	37.7%
男性	124	62.3%
総計	199	100.0%



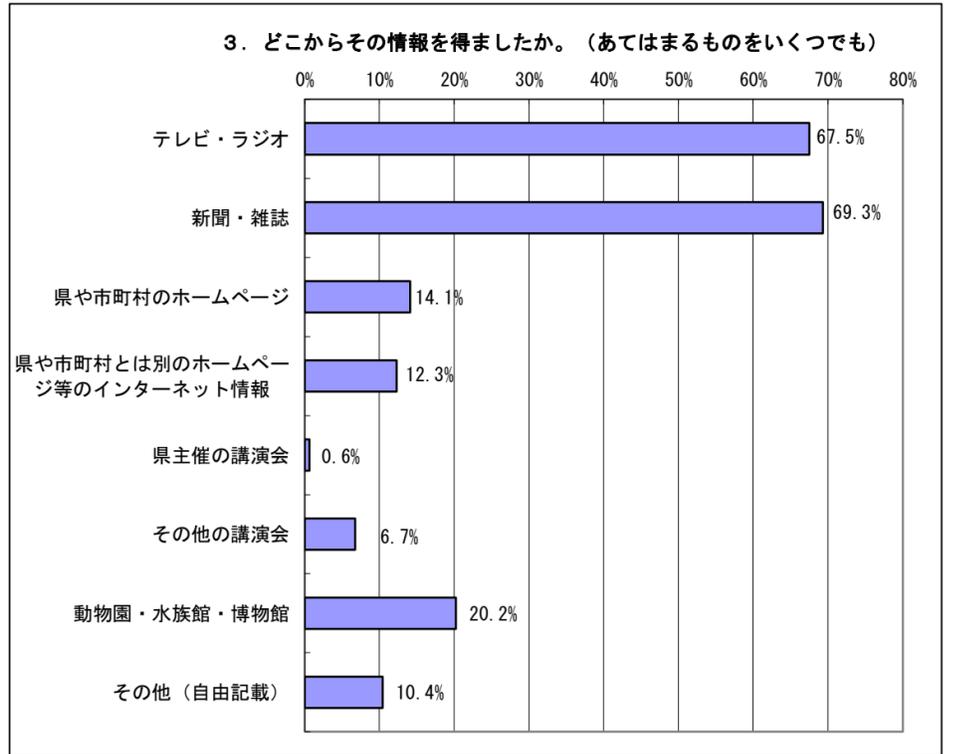
1. 奈良県の自然にどの程度関心がありますか。	回答数	回答対象者	比率
非常に関心がある	64	199	32.2%
ある程度関心がある	119		59.8%
あまり関心がない	13		6.5%
全く関心がない	2		1.0%
わからない	1		0.5%
総計	199		100.0%



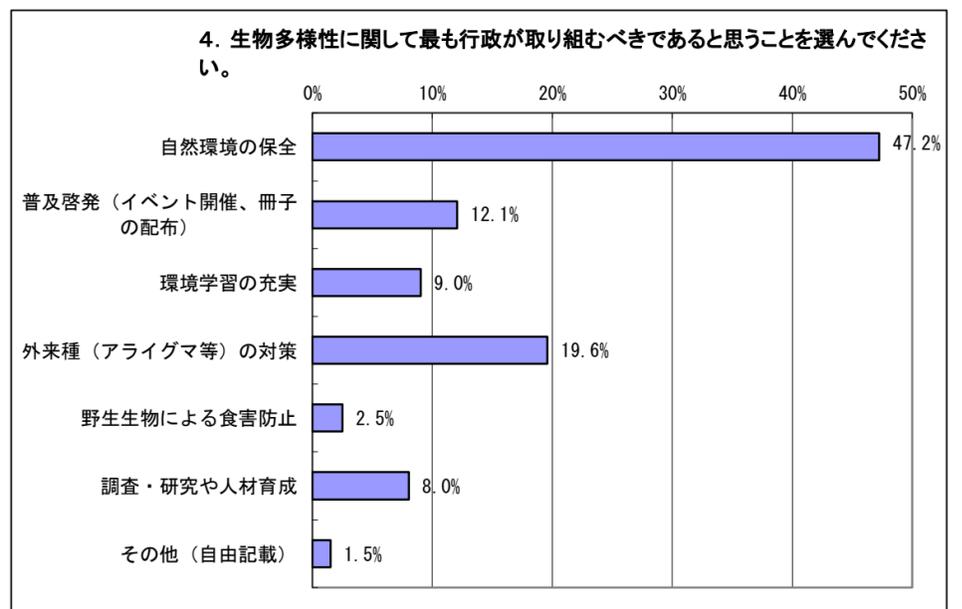
2. 「生物多様性」という言葉を知っていますか。 (※生物多様性とは生きものや生態系の豊かさを表す言葉です。さまざまな生態系にさまざまな在来種が、さまざまな遺伝子を有して生きていることです。) →この設問(Q2)で「1. 言葉の意味を知っていた」又は「2. 意味は知らなかったが聞いたことがあった」を選択された方はQ3へ 「3. 聞いたこともなかった」を選択された方はQ4へ	回答数	回答対象者	比率
言葉の意味を知っていた	100	199	50.3%
意味は知らなかったが聞いたことがあった	63		31.7%
聞いたこともなかった	36		18.1%
総計	199		100.0%



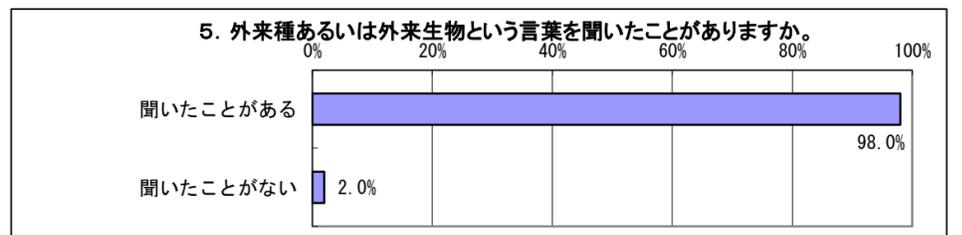
3. Q2で「1. 言葉の意味を知っていた」又は「2. 意味は知らなかったが聞いたことがあった」を選択された方にお聞きします。どこからその情報を得ましたか。(あてはまるものをいくつかでも)	回答数	回答対象者	比率
テレビ・ラジオ	110	163	67.5%
新聞・雑誌	113		69.3%
県や市町村のホームページ	23		14.1%
県や市町村とは別のホームページ等のインターネット情報	20		12.3%
県主催の講演会	1		0.6%
その他の講演会	11		6.7%
動物園・水族館・博物館	33		20.2%
その他(自由記載)	17		10.4%
総計	328		-



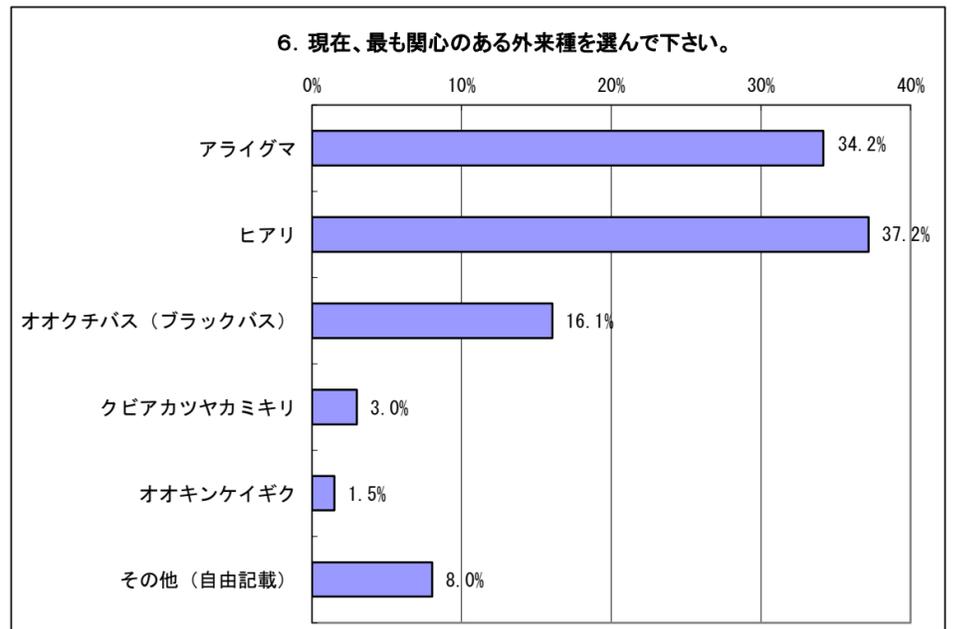
4. 生物多様性に関して最も行政が取り組むべきであると思うことを選んでください。	回答数	回答対象者	比率
自然環境の保全	94	199	47.2%
普及啓発(イベント開催、冊子の配布)	24		12.1%
環境学習の充実	18		9.0%
外来種(アライグマ等)の対策	39		19.6%
野生生物による食害防止	5		2.5%
調査・研究や人材育成	16		8.0%
その他(自由記載)	3		1.5%
総計	199		100.0%



5. 外来種についてお聞きします。外来種あるいは外来生物という言葉聞いたことがありますか。 ※外来種とはもともとその地域にいなかった生きもので、人間の活動によって他の地域から入ってきた生きもののことをいいます。	回答数	回答対象者	比率
聞いたことがある	195	199	98.0%
聞いたことがない	4		2.0%
総計	199		100.0%

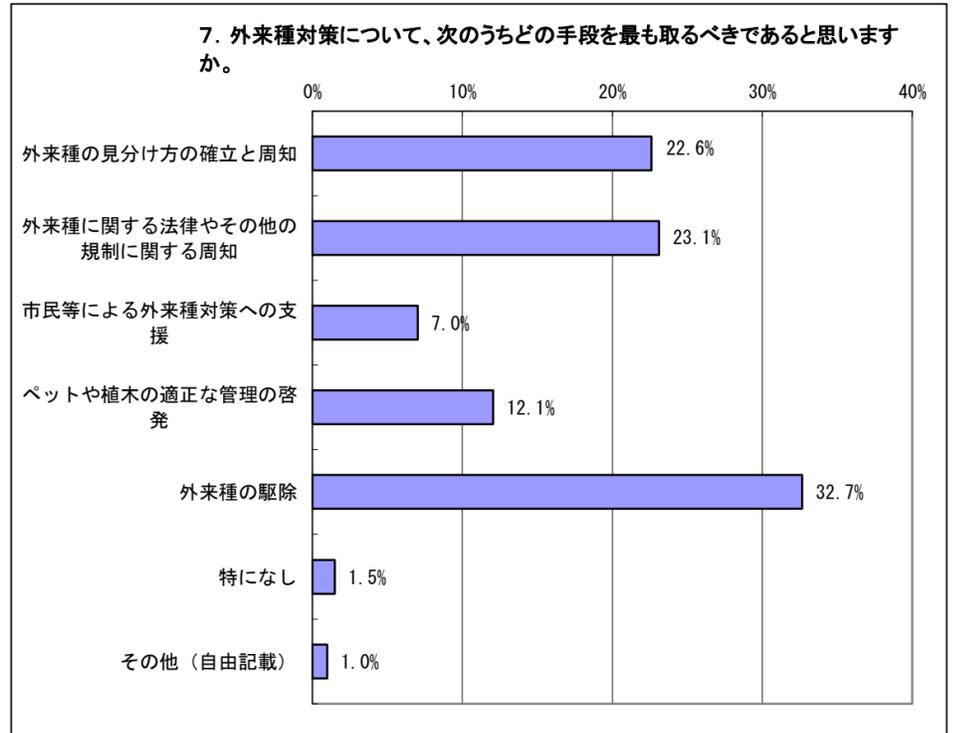


6. 現在、最も関心のある外来種を選んで下さい。	回答数	回答対象者	比率
アライグマ	68	199	34.2%
ヒアリ	74		37.2%
オオクチバス(ブラックバス)	32		16.1%
クビアカツヤカミキリ	6		3.0%
オオキンケイギク	3		1.5%
その他(自由記載)	16		8.0%
総計	199		100.0%

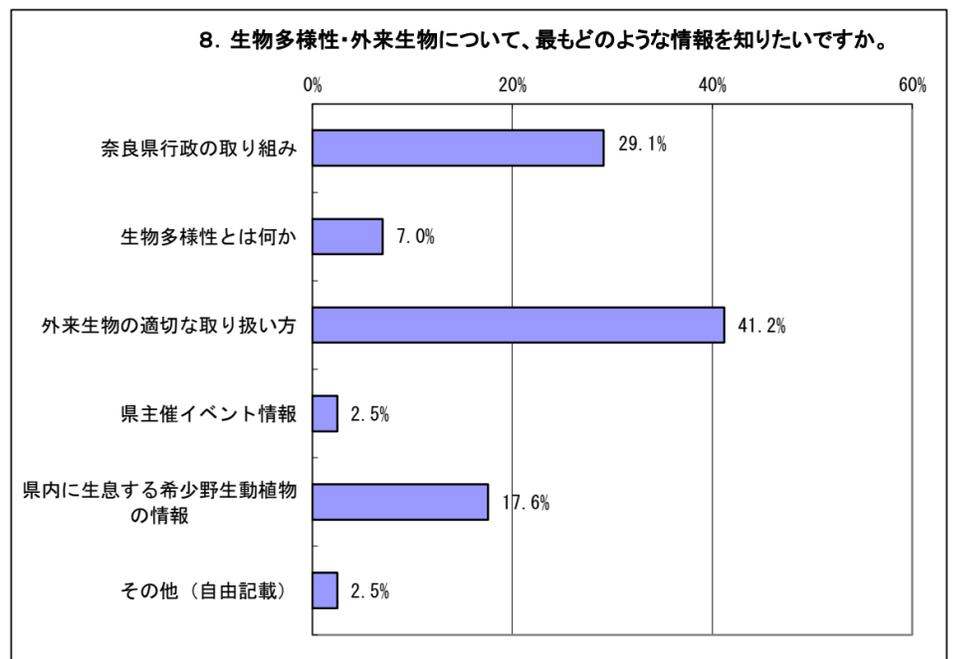


その他(自由記載) 一部抜粋
アカミミガメ

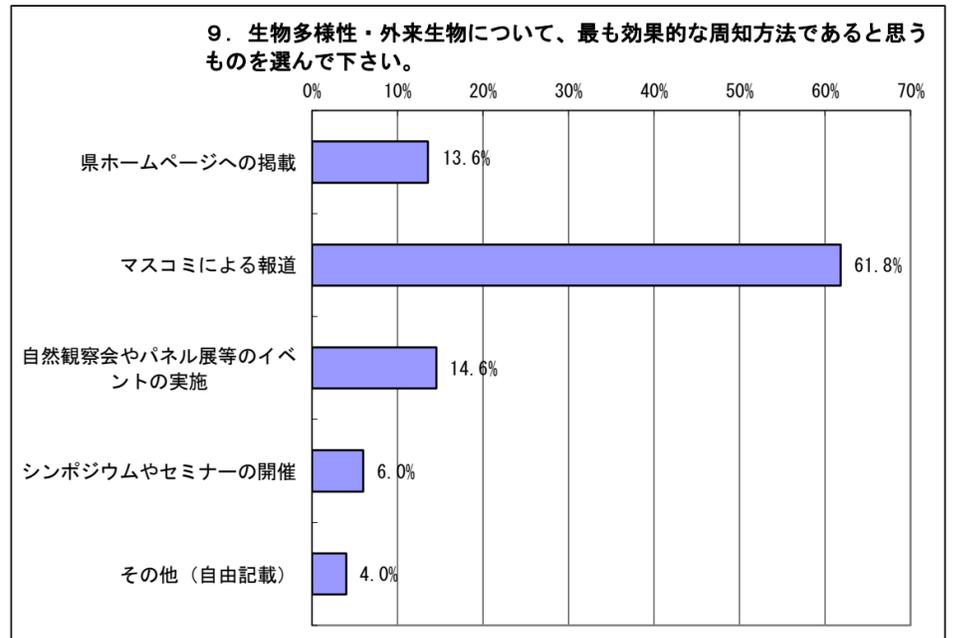
7. 外来種対策について、次のうちどの手段を最も取るべきかと思えますか。 ※外来種の中には私たちの生活に欠かせない生きものもたくさんいますが、中にはもともとその地域にいるもの（在来種）を食べたり、在来種と交雑して雑種をつくってしまうものもあります。対策として、駆除の他に、飼っている外来種を野外に放たないようにする等の注意喚起も挙げられます。	回答数	回答対象者	比率
外来種の見分け方の確立と周知	45	199	22.6%
外来種に関する法律やその他の規制に関する周知	46		23.1%
市民等による外来種対策への支援	14		7.0%
ペットや植木の適正な管理の啓発	24		12.1%
外来種の駆除	65		32.7%
特になし	3		1.5%
その他（自由記載）	2		1.0%
総計	199		100.0%



8. 生物多様性・外来生物について、最もどのような情報を知りたいですか。	回答数	回答対象者	比率
奈良県行政の取り組み	58	199	29.1%
生物多様性とは何か	14		7.0%
外来生物の適切な取り扱い方	82		41.2%
県主催イベント情報	5		2.5%
県内に生息する希少野生動物植物の情報	35		17.6%
その他（自由記載）	5		2.5%
総計	199		100.0%



9. 生物多様性・外来生物について、最も効果的な周知方法であると思うものを選んで下さい。	回答数	回答対象者	比率
県ホームページへの掲載	27	199	13.6%
マスコミによる報道	123		61.8%
自然観察会やパネル展等のイベントの実施	29		14.6%
シンポジウムやセミナーの開催	12		6.0%
その他（自由記載）	8		4.0%
総計	199		100.0%



10. その他、奈良の生物多様性についてのご意見・ご要望があれば自由にご記入下さい。（任意回答）	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	61	-	-

（一部抜粋）  
 生き物を身近に感じられる幼・保・こども園・小学校と連携して観察会の開催があれば良いと思う。  
 虫とふれ合う機会が少ないので虫が嫌いな子どもも多い。興味をもてるような場があればきっかけの1つになると思う。  
 外国からのものの流通や外国人の旅行等により外来生物が入ってくるのは防衛のしようがないため、それに対する対応の仕方をわかりやすく報道してほしい。